

編集後記

『研究報告』50号をお届けします。前号に続き、今号もコロナ禍の影響により、分科会の年間行事が十分に実施出来なかったため、誌面構成が今までと大きく変わっています。『歴史総合』導入を目前にした特集として、春季研究大会報告「歴史総合をどのように学ぶか」を掲載しました。「近代化・大衆化・グローバル化」をキーワードに日本史・世界史の枠を超えた共同発表という形式をとっています。その他、恒例となった世界史の高校・大学連携事業、日本史の高校・博物館の連携事業についての経過報告、世界史関連の講演録2本など、多彩な内容となっています。ご覧ください。

さて、神奈川県下の歴史教員のレベルを示すバロメーターと自負して発行を続けてきた本誌も、ついに50号を迎えました。しかし、今年度から新歴史科目の開始にもかかわらず、教員の雑務に追われる環境は一向に改善されず、自主的な教材研究・研鑽の時間は確実に減少しています。そしてその成果を公開する場である本誌も、予算の大幅な削減やここ数年の出版委員の人員不足などで、発行の継続自体が危ぶまれる状況で前途は多難です。是非今後の発行継続のためにも、教員の皆様には、誌面に対する忌憚ないご意見とともに、ご支援・ご協力をお願いいたします。

(K)

ホームページも随時更新して、内容を充実させています。ご覧ください。

神奈川県高校社会科部会歴史分科会ホームページ

<http://kanagawarekishibunkakai.cho88.com/>

出版・情報委員長 木村 芳幸、副委員長 風間 洋

社会科部会歴史分科会『研究報告』《第50号》

発行日 2022（令和4）年5月10日

発行 神奈川県高等学校教科研究会

社会科部会 歴史分科会

出版・情報委員会

発行責任者 長島 一浩（歴史分科会長）

印刷 スピード印刷工房

〒815-0031 福岡市南区清水 2-15-30

代表電話 092-555-7450